

# 都留市景観計画

## 都留市景観まちづくり市民意見書



平成31年(2019年)4月24日  
景観まちづくり市民懇談会



●景観まちづくりフィールドワークより



## 目 次

|   |                                 |   |
|---|---------------------------------|---|
| 1 | 景観まちづくり市民意見書の提出にあたって .....      | 1 |
| 2 | 景観まちづくりプラン .....                | 2 |
|   | (1) チーム別検討テーマと重点プロジェクトの提案 ..... | 2 |
|   | ■ 地元学から始める景観まちづくりチームの提案 .....   | 2 |
|   | ■ 俳句でハイキングチームの提案 .....          | 4 |
|   | (2) 景観まちづくりの実現に向けて .....        | 6 |
| 3 | 市民懇談会活動の概要 .....                | 6 |



# 1 景観まちづくり市民意見書の提出にあたって

## (1) 市民懇談会の目的と検討経過

### ■市民懇談会の目的

「景観まちづくり市民懇談会」は、都留市の一般公募市民、関係団体代表、都留文科大学学生などの、幅広い年齢層や様々な職業の市民31名により構成された会です。

市民懇談会は、都留市の景観計画策定に向けて、市民の視点から景観まちづくりの方向性や協働による取り組みなどを協議し、その成果を「都留市景観まちづくり市民意見書」としてまとめ、都留市に提出することを目的としています。

また、この市民懇談会の活動が、市民が主体となった景観まちづくり活動の一翼を担うことも、目的の一つとしています。

### ■景観まちづくりプラン検討にあたっての経過

- 景観は、「目に映るもの」や「見る人の感じ方」によって、受ける印象が異なってきます。  
市民懇談会では、はじめに、「都留市の景観とはなんだろう」という、それぞれが日常感じている想いを共有する、共通の土壌を創ることから始めました。
- 検討の中では、普段の生活では気づかなかった身近なところに多くの景観資源が残されていることや、課題や問題が潜んでいることなど、新たな発見を見いだしました。また、懇談会参加者の意見は、景観に対する多様な価値観や、このまちに暮らし、まちづくり・景観づくりを支えている様々な活動を知る機会ともなりました。
- 都留市の景観特性が見えてきた段階で、「景観フィールドワーク」を行いました。実際に目で見て、五感で感じ、多くの会話を交わすことで、景観を特徴づける資源を再発見するとともに、目に映る風景の背景にあるものがとても大切であることに改めて気づき、景観の奥行きを見直す貴重な体験となりました。
- 提案の検討を積み重ねていく中で、地域の暮らし方の現われが景観となること、住む人が誇りに思い、訪れる人が住んでみたいと思えるような景観づくりが必要であること、そのためには、このまちに住む住民が景観を意識し、心配りをし、できることから景観づくりの取り組みを進めることが重要であるとの想いを強くしました。
- この意見書は、協議の成果をまとめたものであるとともに、市民懇談会の全てのプロセスを背景として、市民による景観まちづくりが、その第一歩を踏み出したものでもあります。



## (2) 意見書づくりで大切な視点と景観まちづくりの検討テーマ

### ■意見書づくりで大切な視点

ワークショップによる協議の積み重ねから、意見書づくりで大切な視点が次のように確認されました。

- ◆住む人も訪れる人も、誰もが「心地よさ」を感じる景観まちづくりを考えること
- ◆自然が暮らしの身近にある、特徴的な地形構造を手がかりとした景観まちづくりに留意すること
- ◆城下町や八朔祭の歴史文化、「水の都」などの“都留市らしさ”を象徴する景観まちづくりを話し合うこと
- ◆地域固有の景観のイメージ・ビジョンを確立し、豊富な景観資源を活かす景観まちづくりを検討すること
- ◆先導的な取り組みや実現可能な手法・仕組みを考えること

### ■景観まちづくりの検討テーマ

意見書づくりにあたっては、都留市の景観特性に沿ったプランとなるよう、テーマを絞り協議することが重要と考え、これまでの協議から次に示す6つの検討テーマを抽出し、検討を進めることとしました。

#### ■都留市の骨格となる景観を守り活かす

##### ●都留市らしい自然骨格を守り・活かす景観づくりを進める

- 山地・森林景観(山岳に囲まれた山峡の都市、市街地後背の都留アルプス、豊かな森林など)
- 河川・水辺景観(清流、溪谷、滝、湧水群など)
- 眺望景観(富士山と景観資源が重なる絶景、地形が魅せる特徴的な眺望景観、身近な眺望地点など)

##### ●城下町の歴史・文化を継承し活かす

- 城下町と寺町通り、堀と水路のまちなみ景観
- 八朔祭や神楽等の伝統行事
- 水と関わる文化遺産、潜在的な歴史資源など

#### 重なるテーマ

##### ●特徴的な地形構造に沿う景観に配慮する

- 溶岩造形、山峡の起伏に富む地形、幹と枝の構造、自然が暮らしの身近にある景観構造など

##### ●「水の都」を育んだ景観を守り、活かす

- 豊かな水資源、富士の湧水・水源地、水に育まれた文化、水と関わる暮らしや営みの風景など

#### ■暮らしに身近な景観を活かし創る

##### ●地域特性を活かした都留市らしいまちなみ景観を創る

- 水のある中心市街地のまちなみ景観
- 都留文科大学周辺の学園都市の景観
- 富士急行線と8つの駅、幹線道路沿道、リニア実験線や公園、観光交流施設周辺などの景観

##### ●地形に寄り添う里山・集落景観を維持し活かす

- 山間地の谷筋に沿う古くからの里山と集落景観
- 十日市場・夏狩湧水群周辺の都留市らしい特徴的な農の風景、市街地周辺の農村集落景観

テーマを大きく2つに分類し、テーマ別のチーム編成により検討



## 2 景観まちづくりプラン

### (1) チーム別検討テーマと重点プロジェクトの提案

#### ■地元学から始める景観まちづくりチームの提案

—都留市の骨格となる景観を守り活かす—

#### 1. 都留市らしい自然骨格を守り・活かす景観づくりを進める

##### ◆目標のキーワード

- ・自然が暮らしの身近にある
- ・身近な水辺景観・湧水
- ・山岳に囲まれた山峡の都市
- ・地形が魅せる特徴的な眺望

##### ◆自然骨格、山地・森林景観、河川・水辺景観、眺望景観などの提案

- 特徴的な地形構造を活かす（富士山の溶岩造形や溶岩流の露頭の活用、十日市場の特徴的な地形など貴重な地形を観察する遊歩道の整備）
- 自然が身近にある景観を活かす（城山や溪谷、都留アルプスなどの市街地の身近にある自然景観の活用、日常の潜在資源の掘り起こしと活用）
- まちを囲む山々・森林景観を活かす（城山の散策路と憩いの場づくり、城山の頂上整備と登山口のサイン整備、クズノ対策、獣害対策、太陽光パネル対策、景勝地へのアクセス整備、人の手が入る維持・管理）
- 都留アルプスの景観活用（市街地そばの自然景観や登山で賑わうレクリエーション景観の活用、案内サインの設置、小動物の生息など自然観察・環境教育の場としての活用、景観を知るための視点場をつくる、花植え・四季の風景づくり）
- 清流と身近な水辺景観を守り・活かす（溪谷や滝、清流の景観保全、家中川、中川、寺川の修景づくり、水と遊ぶ場づくり、太郎・次郎滝など景勝地のアクセス整備、おなん淵～蒼竜峡のフットパス、河川や滝、用水路のゴミ対策、蓋がけ水路の見直し検討、美味しい水のPR）
- 富士湧水群と水源地の景観を守り・活かす（十日市場・夏狩湧水群周辺の散策路・アクセス整備、水源地巡りのフットパス、洗い場や水汲み場など暮らしに溶け込む潜在資源の掘り起こしと活用、わさび田や湧水の滝、冬季のつらら（湧水）の活用、案内サインの設置）
- 生物の生息環境を守る（ムササビの生息の場の保全と活用）
- 四季折々の景観を活かす（桜や芝桜の景観を活かす）
- 都留市らしい良好な眺望を活かす（富士山の眺望の活用（富士の眺望を活かした町割り）、ビューポイントのPR（都留アルプス、城山、眼下の桂川流域、谷村の城下町、川茂からの風景、リニア実験線周辺、田原の滝と富士急行等）、地域の隠れた視点場を活かす（身近な山々、旧道の峠、烽火台など）、山々を仰ぐ眺望の活用、眺望巡りのフットパス）

#### 2. 城下町の歴史・文化を継承し活かす

##### ◆目標のキーワード

- ・城下町の歴史性
- ・堀と水路の昔ながらのまちなみ景観
- ・日常の中に歴史を感じる風景
- ・歴史文化が息づく伝統行事

##### ◆城下町と寺町の景観、伝統行事、水と関わる文化遺産、歴史資源などの提案

- 富士に向かい築かれた城下町の景観を活かす（富士山麓唯一の城下町の歴史性を活かす、町割りや水路の由縁を見直す、城山の修景整備、廃屋・空き家対策、野づら積みの石垣の活用、城下町・寺町巡りフットパス）
- 寺町通りの歴史的まちなみ景観の活用（家中川や社寺周辺の景観を見直す、寺と庭の風景、永寿院周辺の湧水の散策路整備、古民家や町屋の活用、道標やサインの設置）
- 水と関わる文化遺産の保全と活用（ピーヤの景観活用、近代遺産・発電所の歴史の顕在化）
- 潜在的な歴史・文化的資源を活かす（旧町名の活用、古道や歴史的な道すじ、富士講の歴史等の顕在化、古代からの遺跡の活用、古渡城など潜在資源の掘り起こしと活用）
- 祭り・伝統行事の継承（八朔祭りのPR、八朔祭り屋台や大行列の撮影スポットづくり、地域で異なる神楽等の伝統文化の継承、参加型による祭りの継承、お祭りリレー・スタンプラリーの検討）

### ◆必要な手だて・仕組みづくり

- ゴミ対策（ゴミに寛容な古い慣習を見直す、地域のモラル・美化意識の向上、上流でゴミを止める取り組み、都留市独自の「ゴミ捨て対策条例」を創る（河川でつながる周辺市町への波及効果を検討））
- ガイド・人材育成（景観の背景（歴史的意味など）を知るガイドの育成、子どもたちの育成・郷土教育）
- 効果的なPR手法（インターネット・SNSの活用、風景の意味を伝えるサインの設置、インバウンド観光と景観PR）
- 景観阻害要因の改善（老朽化・錯綜する案内・解説サイン類の改善、「ソーラーパネル対策の条例」づくり）
- 住民が景観の価値を認識していく仕組みづくり（住民の誇りにつながる景観づくり、地域ごとの景観を魅せる・地域資源が見える環境づくり、ツアーやフットパス、景観巡りのコースづくり、絵になるイメージ写真による周知）

### ■重点プロジェクト（先導的な取り組み）の提案

#### テーマ

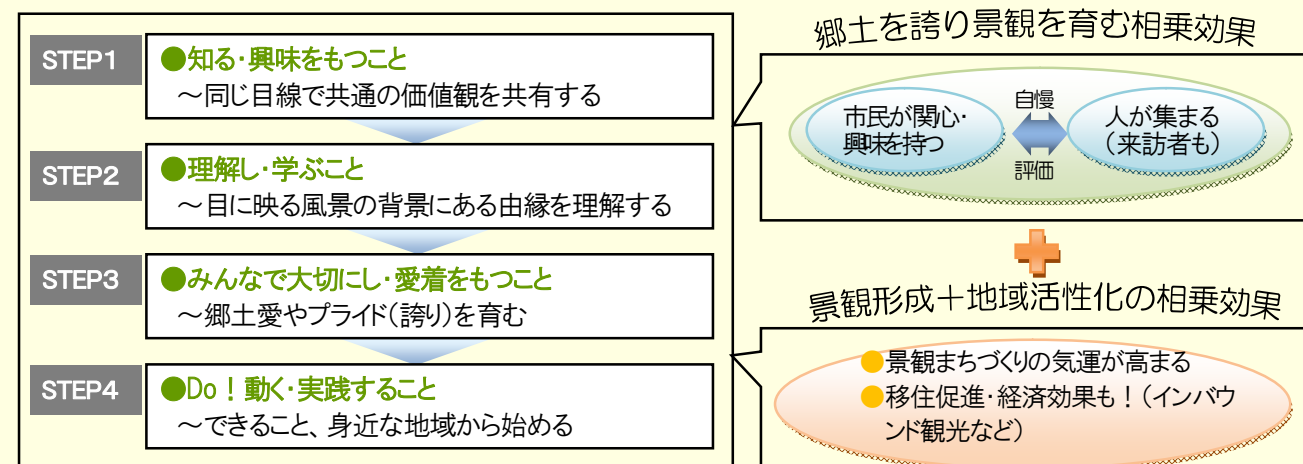
## 知ること、共感することからはじめる景観づくり!!

#### 考え方

- 都留市の景観の価値を、住んでいる市民が知らない・伝わっていない。気づく・気づかせる取り組みが必要
- まずは、景観について多くの人との共感を得られること、その共通の価値観が「心地良い風景」に結びつくことを理解すること
- そこから、郷土の風景を大切に思う意識を育み、主体的な活動まで高めていくことが重要

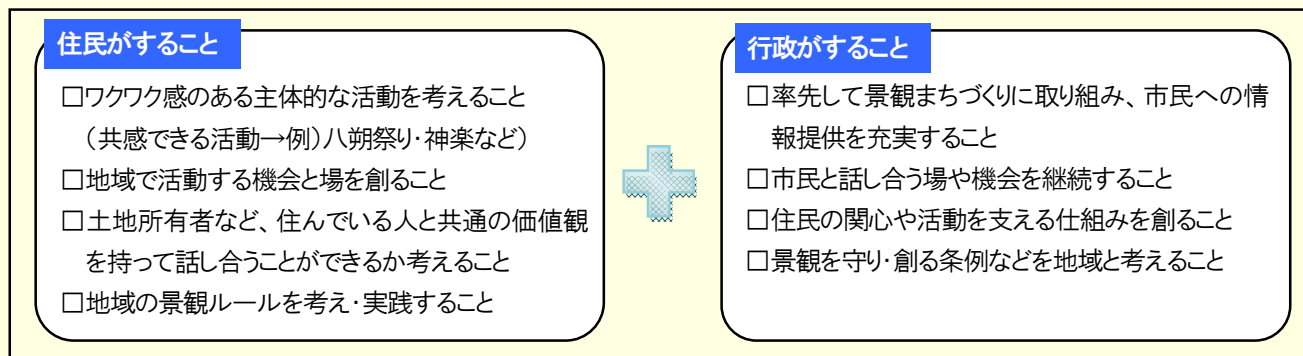
#### 取り組みの方向性

### ■相乗効果を生む 共感し・協働するすじみち（誘導シナリオ）



### 継続していくために!!

～共感できる・ワクワク感のある取り組みで継続すること～





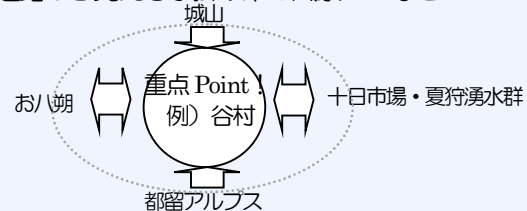
## 具体的な取組み

## 1.「地元学」－郷土景観を育む人づくりに取り組む

- 「風景 100 年の計」、郷土の景観を継承していく長期的視点をもった取り組みを進める
- 景観づくりを担う子どもたちの育成に取り組む
  - ・幼少時の体験・記憶は未来につながり継承される
  - ・お宝が豊富な環境を活かし、体験や気づきを与える（歴史探訪教室、自然観察教室、地形・地学教室など）
  - ・小・中学生を対象とする
  - ・学校の副読本を活用（かつてのふるさと探検隊など）
- 地域を愛する人を育てる
  - ・「まちが舞台」の取り組みを進める（地区毎に八景有り）
  - ・地域ごとに共感を得ていく（ふるさと探検隊の実施等）

## 2. 景観まちづくりのポイントを絞り込む

- 景観まちづくりの優先順位を絞り込む
  - ・ アピールする点・エリアをラインで結び
  - ・ 共感できる景観を切り口とする（誰もが知る“王道でもいいじゃない”、地域の愛着のあるところなど）
- 「どう見えるか」「どう魅せるか」好循環する視点・ラインを考える
  - ・ 高速道路から見える水掛け菜の風景・・など



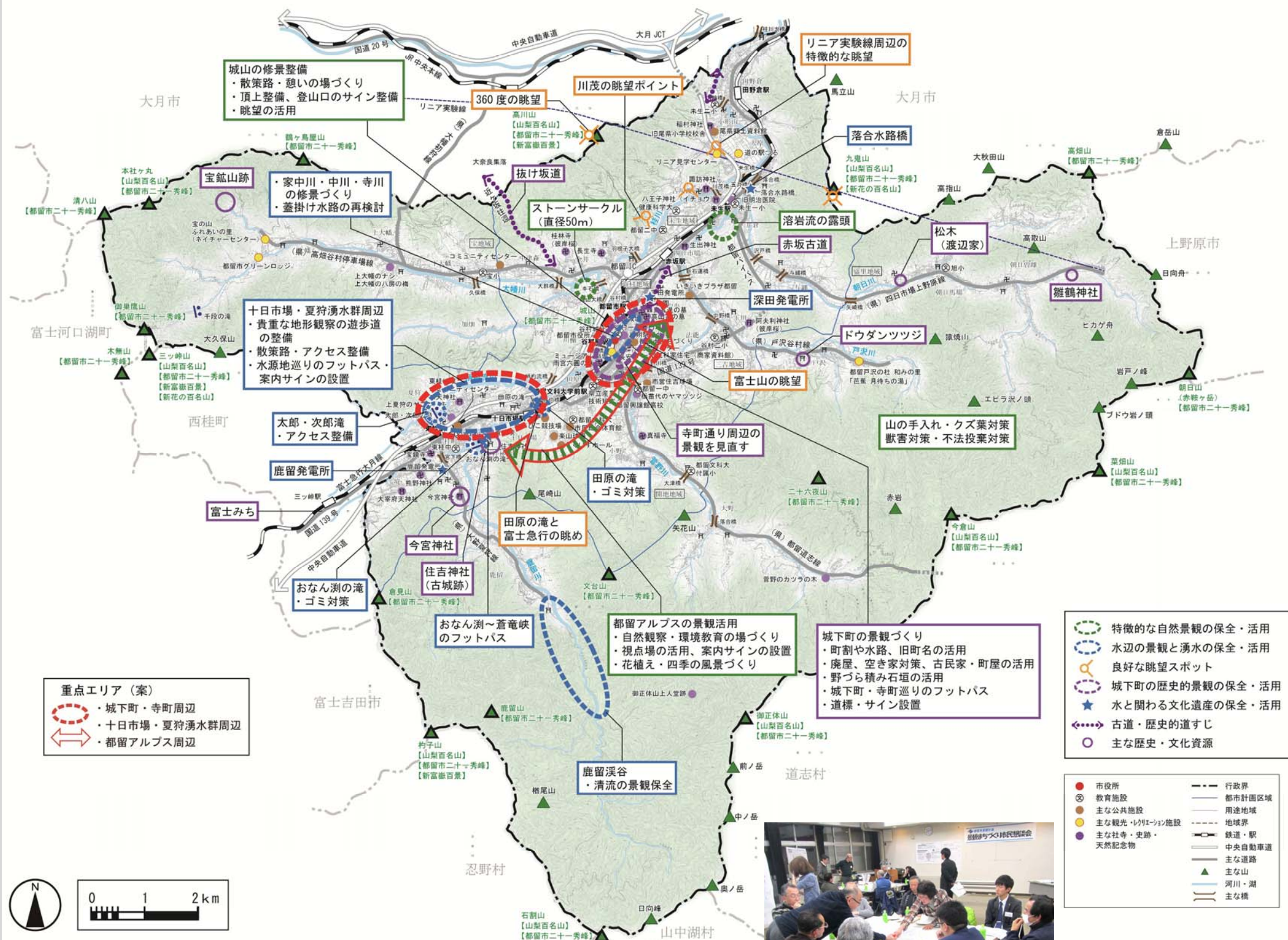
- 成果が好循環し、波及していくようにする
  - ・ 気になる風景とする情報作戦（SNS など）
  - ・ 共感を盛り上げる取り組み（写真コンテスト、アンケート型人気投票、地域のお宝マップの作成など）
- 新たに創る景観も重要
  - ・ “守る” には限界がある、効果的な景観を創る・魅せる
  - ・ トレッキングなど、四季を通して来訪者の多い都留アルプスを活用し誘導する（景観ポイントを結ぶルートづくり、登山口への都留景観案内サインの設置など）
- 実現化の可能性や費用対効果も併せて検討する

## 先導エリアの提案!!

- **地形・地学** ～十日市場・夏狩湧水群(溶岩造形と湧水)
  - **自然** ～都留アルプス(身近な自然、生態系、眺望等)
  - **歴史** ～谷村の城下町
- ※城山→自然・歴史・眺望等の宝庫だが、アクセスが困難

ラインとしてつなげる!!

■景観特性・提案マップ 一都留市の骨格となる景観を守り活かすー





## ■俳句でハイキングチームの提案

ー暮らしに身近な景観を活かし創るー

### 1. 地域特性を活かした都留市らしいまちなみ景観を創る

#### ◆目標のキーワード

- ・まちの顔となる景観を創る
- ・地域特性を活かすまちなみ景観づくり
- ・元気な風景を創る
- ・景観づくりを通し、ふれあい・交流を深める

#### ◆中心市街地、学園都市、駅周辺、施設周辺などのまちなみ景観の提案

- 水のある中心市街地のまちなみ景観づくり（家中川、中川、寺川の修景、空き地・空き家の有効活用（駐車場・ポケットパーク）、城下町のまちなみ景観づくり（道路や駐車場整備は城下町のまちなみづくりなのか）、小水力発電施設（元気くん）と豊かな水環境・水路を活かすまちなみ景観づくり、商店街を元気にする、狭あい道路対策、美味しい水コンテスト（湧水の場））
- 学園都市の景観づくり（都留文科大学を核とした景観の創出、学生のまちの特色を活かす、錯綜する景観の整序、学生アパート乱立への対応、美化と景観の維持管理）
- まちの玄関口・顔となる駅周辺の景観づくり（ワクワク感のある8つの駅の景観の創出（沿線の特徴ある景観資源の活用、俳句の掲示）、ローカル線駅のストーリーづくり、玄関からまちなかへ・駅からフットパスづくり、展開する車窓からの風景の活用（沿線の四季や景観資源の活用、谷村町駅前への屋台幕展示など）、駅から景観資源への案内サイン設置）
- 多彩で特徴的なまちなみ景観づくり（自慢できる景観を創る、地域ごとのお神楽を活かす、リニア実験線のある景観の活用、リニア見学センターのPRの充実、国道の安全な歩行環境の整備、幹線道路沿道のまちなみ景観の整序、案内・解説サインの整序、ゴミのポイ捨て対策）
- 公園周辺の景観形成（水辺の公園整備、身近な公園・散策路の整備、スポーツで賑わう風景の活用、使われていない公園の利活用）
- 施設周辺の景観づくり（集約された施設周辺の景観形成、尾県郷土資料館や道の駅つるなどの特色ある施設周辺の景観形成、ミュージアム都留の屋台幕の活用）

### 2. 地形に寄り添う里山・集落景観を維持し活かす

#### ◆目標のキーワード

- ・住みやすい適度な田舎
- ・地形に寄り添う景観
- ・水と関わる暮らし・営み
- ・地域の暮らしの積み重ねが景観となる
- ・特徴的な農の風景

#### ◆中山間地域の里山・集落、市街地周辺の農村集落などの景観

- 幹と枝の構造にある里山・集落の景観づくり（谷筋に古くから形成された特徴的な景観を見直す、地域資源が見える環境づくり、廃屋・空き家対策、柵の設置など獣害対策の推進）
- 市街地周辺の農村集落の景観づくり（十日市場・夏狩湧水群周辺の農村集落景観の維持と活用）
- 都留市らしい農の風景づくり（わさび田と湧水、水掛け菜の風景の保全と活用、水質の維持・ゴミ対策、耕作放棄地の有効活用、農の後継者づくり）

## ◆必要な手だて・仕組みづくり

- 空き家・空き地対策（壊すもの・残すものの仕分け、使用されなくなったものを活かす、市で空き地を借り受け活用する）
- 景観を守り・活かすルールづくり（地域・場所に応じたルールづくり、「清流を保つ条例」づくり）
- 効果的なPR手法（都留の情報ネットの充実（「つるペディア」）、インバウンド向けの情報発信サイトの創設、お祭りに参加できる情報の発信、インターネット・SNSの活用、撮り鉄・乗り鉄等の活用）
- 景観に関する情報の活用（都留文科大学のフィールドノートなど）
- 景観阻害要因の改善（老朽化・錯綜する案内看板の改善、ソーラーパネルに対する条例づくり）
- 住民が景観の価値を認識していく仕組みづくり（住民が自慢できる景観づくり、地域の伝統行事を活かす（地域の伝統行事に参加する仕組み）、ツアーやフットパスづくり、イメージ写真による周知）

## ■重点プロジェクト（先導的な取組み）の提案

#### テーマ

まず、できることから始めよう！

#### 考え方

- 景観づくりを進めていくためには、その重要な担い手である市民の意識を高めていくことが大切。そのためにはまずそのキッカケとして「できることから始める景観づくり」の取り組みをスタートさせる。
- 市内には8つの駅があり、このまちの大きな特色となっているが、玄関口としての魅力に欠ける。
- 市内にはお宝（魅力資源）がたくさんあるが、あまり知られていない。関心も薄い。どこにあるのかわからない・・・お宝の価値を見直し（再発見し）、多くの市民・観光客に知ってもらうことから始める
- まちの魅力を再発見し、プロジェクトを通じて、市民の景観に対する意識を「つなぐ」、魅力ある景観資源を「つなぐ」、歴史を「つなぐ」ことをめざす。

#### 取組みの方向性

### お宝発見プロジェクト ～（仮称）つる8駅物語～

- 市民主体による都留市の潜在的なお宝（魅力資源）の掘り起こしと魅力の再発見、効果的なPR
- 市内の8つの駅を起点とした、地域単位のお宝（魅力資源）を結ぶフットパスコースづくり
- 地域の魅力を内（市民）と外（観光客等）に広く発信

#### <主な提案>

- お宝探しを通じて市民の景観への意識を高める
- 身近な歴史資源の掘りおこし（道祖神など）や、使われなくなったもの（古民家、商家、蔵、空き地・空き家など）の魅力を再発見する
- 市民が主体となって地域のお宝（魅力資源）を再発見し、市民や観光客に広げていく
- 8つの駅があるという特色を活かす（駅を活かして人を集める、駅を起点としたハイキングコースなど）
- 市民が主体のまち歩きイベントを実施する（都留市お宝探偵団など）
- 地域の小学校と連携したまち歩き（オリエンテーリング）の実施
- フットパスづくりを通じた交流の促進、景観まちづくりの促進・・・など



具体化に向けて

1. 参加のしくみづくり

- 市民の話し合いの場や機会をつくる  
(今回の市民懇談会の延長上に場づくりを考えてみる)
  - ・どう歩けばいいのか
  - ・協働のまちづくり、どちらかというと内向き
  - ・市民のレベルアップ
  - ・外部から人を呼ぶ
- まち歩きイベントなど、自発的な取り組みを実施する
  - ・実行主体を検討する

2. 8つの駅の活かし方

- 駅の活かし方
  - ・俳句の活用
  - ・「つるっとハイキング」(8駅を起点としたハイキング、小学校に車を止められる)
  - ・「つるっ歩マップ」(駅から散策できる統一したマップの作成、つる8駅ガイドマップ)
  - ・駅前レンタサイクル(アシスト付き自転車など)
  - ・富士急行線市内乗り降り自由の切符
- 駅と地域の魅力資源を結ぶコースづくり

3. 情報発信の仕組みづくり

- 都留の情報発信サイトを創る
  - ・都留市版ウキペディア「つるペディア」
- その他のPR手法
  - ・SNS、乗り鉄・撮り鉄の活用など

4. 行政へのお願い

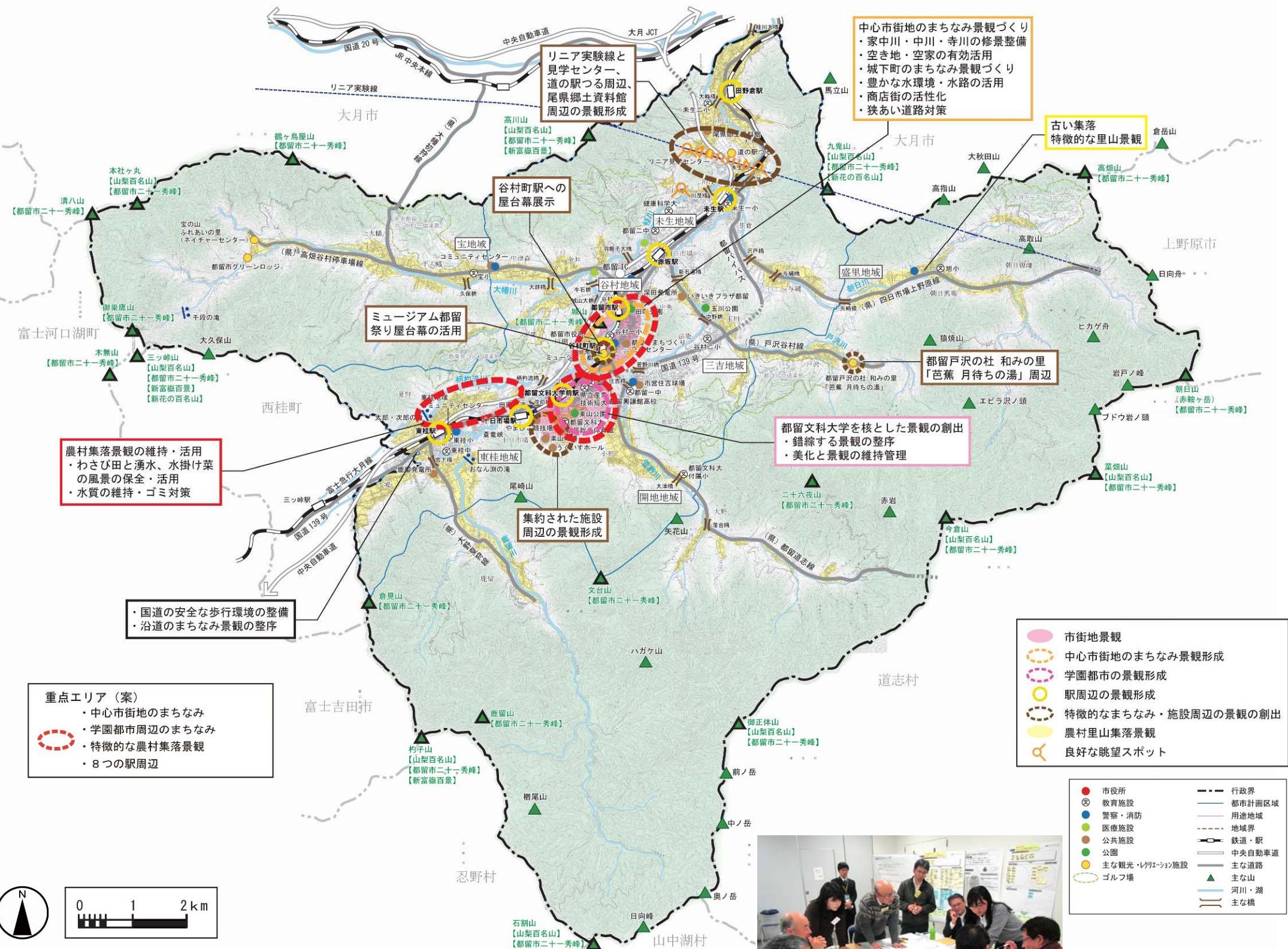
- ハードなど資金を要するものの支援
  - ・駅前などのポケットパーク整備
  - ・情報案内板、案内サイン、看板設置など
  - ・公共のレンタルサイクル
  - ・駅を起点とした散策マップの作成など
- 富士急行への協力要請
  - ・都留市内共通乗車券の発行など

5. 景観のルールづくり

- 清流を守るルール(条例など)
- 景観阻害要因に対するルール(ソーラーパネル、バラバラな看板、サインなど)

これらの取り組みが  
景観まちづくりにつながる!!

■景観特性・提案マップ —暮らしに身近な景観を活かし創る—





## (2) 景観まちづくりの実現に向けて

### ■それぞれの役割（協働体制）による行動指針

都留市の景観まちづくりに向けて、次の行動指針を提案します！

※これまでの意見・提案から整理

#### ●私たち市民が進めること・・・

- 地域の景観を知る・関心を持つこと、多くの人と共感を得ること
- 市民が主体となり、お宝（景観資源）を掘り起こし、魅力を再発見すること
- 市や地域の景観に誇りを持ち、景観への共通の価値観を共有すること
- 身近なことから動き始める一歩を踏み出すこと
- 地域でワクワク感のある主体的な活動を考え・話し合い、実践すること

#### ●協働で進めること・・・

- 景観まちづくりについて話し合う機会と活動の場を創ること
- 郷土景観を育み・継続するため、人材の発掘、地域を愛する子どもたちや人を育てること
- 地域とともに良好な景観を守り・維持するルールや条例を検討し、実践すること
- 住む人が誇りに思い、訪れる人が住みたいと思えるような、効果的な情報発信やPR手法を考えること
- 景観まちづくりを通して多くの人とのふれあい・交流を高めること

#### ●行政が進めること・・・

- 景観まちづくりのビジョンをすえ、市民意見を反映した景観計画を策定すること
- 市民の景観まちづくり活動を支える仕組みを創ること
- 都留市の身の丈にあった景観まちづくりに率先して取り組み、市民への情報提供を充実すること
- 費用対効果も考慮し、短期・中期・長期の計画的・戦略的な景観まちづくりの実現に取り組むこと
- 隣接するまちや富士急など関係する機関との調整と連携を進めること



## 3 市民懇談会活動の概要

### ■市民懇談会の開催経過

第1回 平成30年9月6日(木)午後7時～9時

第1部 景観まちづくり市民懇談会発足式

○景観計画とは／ワークショップガイダンス

第2部 全体ワークショップ

テーマ：「都留市らしい景観！

何とかしたい景観！」

・自己紹介と景観への想いの一言

第2回 平成30年10月18日(木)午後7時～9時

○都留市景観市民アンケート調査結果

テーマ：「景観特性の再発見、

景観まちづくり課題の共有」

・都留市の景観特性の共有と課題の抽出、景観特性・情報マップづくり

第3回 平成30年12月8日(土)午後1時～5時

第1部：景観まちづくりフィールドワーク

○市内の主な景観ポイントの現地確認

第2部：グループワークショップ

テーマ：「景観まちづくりの課題を再整理し、

意見書づくりのテーマを確認しよう！」

・景観特性と課題の再整理、都留市の景観まちづくりで検討すべきテーマの確認

第4回 平成31年1月29日(火)午後7時～9時

○「景観まちづくりを考える構成要素」、「検討テーマとグループ編成について」

テーマ：「景観まちづくりの目標や

重点プロジェクトの協議」

・テーマ別目標と景観まちづくりの具体的な提案、先導的な取り組みの確認

第5回 平成31年3月18日(月)午後7時～9時

○市民意見書たたき台・市民意見書提出概要

テーマ：「景観まちづくり市民意見書をまとめよう！」

・重点プロジェクトと提案の実現に向けた協議、市民意見書のまとめ

平成31年4月24日(水)

景観まちづくり市民意見書の提出

### ■市民懇談会委員の皆さん

(順不同、継承略)

| 氏名     | 備考                    |
|--------|-----------------------|
| 藤本 紘一  | 谷村地域協働のまちづくり推進会       |
| 渡邊 喜信  | 東桂地域協働のまちづくり推進会       |
| 矢野 秀   | 禾生地域協働のまちづくり推進会       |
| 宮澤 宏   | 開地地域協働のまちづくり推進会       |
| 佐藤 和徳  | 三吉地域協働のまちづくり推進会       |
| 小笠原 幸夫 | 宝地域協働のまちづくり推進会        |
| 前田 太二  | 盛里地域協働のまちづくり推進会       |
| 志村 浩哉  | 都留市観光協会               |
| 重原 達也  | 都留市商工会                |
| 相川 泰   | 都留市観光振興公社             |
| 中村 吉秀  | 都留市青年会議所              |
| 斉藤 健司  | 都留ライオンズクラブ            |
| 臼井 久   | 都留ロータリークラブ            |
| 岩村 茂樹  | 山梨県建築士会都留支部           |
| 小林 正道  | 山梨県宅地建物取引業協会富士・東部ブロック |
| 田中 治夫  | つる倫理法人会               |
| 奈良 泰史  | 都留市郷土研究会              |
| 内野 一洋  | 都留アルプス会               |
| 水庭 次男  | 湧水を守る会                |
| 安田 豊久  | 富士ゼロックス(株)地方創生連携協定締結者 |
| 小林 浩樹  | 山梨中央銀行(包括連携協定締結者)     |
| 山中 敏枝  | 生涯活躍のまち・つる推進協会        |
| 鐘ヶ江 里菜 | 観光業                   |
| 渡辺 茉奈  | 観光業                   |
| 秋山 美和子 | 農業                    |
| 下山 みなみ | 都留文科大学生               |
| 林田 莞太  | 都留文科大学生               |
| 名取 舞   | 都留文科大学生               |
| 本多 孝守  | 都留文科大学生               |
| 奈良 美緒  | 都留市地域おこし協力隊           |
| 高尾 茉理乃 | 城下町テイスティングプロジェクト研究会   |



# ー景観まちづくりフィールドワーク風景ー

開催日時：平成30年12月8日（土）午後1時～4時頃  
 主な行程：十日市場・夏狩湧水群周辺（車移動）～中心市街地・寺町周辺（徒歩移動）  
 主な内容：現地点検調査（事務局、参加者による主要ポイントの説明）  
 終了後、ワークショップによる課題等の再整理（1時間程度）



・出発（市役所）



・田原の滝と富士急行



・田原の滝



・第2部スタート  
（市役所・谷村城址）



・元気くん1号



・家中川



・十日市場用水路



・十日市場の民家の湧水



|                         |       |          |      |       |      |         |                         |
|-------------------------|-------|----------|------|-------|------|---------|-------------------------|
| スタート（13時出発予定）<br>市役所駐車場 | ①田原の滝 | ②十日市場用水路 | ③永寿院 | ④水掛菜畑 | ⑤長慶寺 | ⑥太郎・次郎滝 | 中心市街地・寺町エリア<br>フィールドワーク |
| 車移動                     | 徒歩移動  | 徒歩移動     | 徒歩移動 | 車移動   | 車移動  | 徒歩移動    |                         |



・永寿院

|            |        |        |      |         |       |      |      |        |      |      |         |
|------------|--------|--------|------|---------|-------|------|------|--------|------|------|---------|
| 十日市場・夏狩湧水群 | 市役所駐車場 | ⑦谷村陣屋跡 | ⑧家中川 | ⑨元気くん2号 | ⑩寺町通り | ⑪円通院 | ⑫桃林軒 | ⑬長安寺周辺 | ⑭谷村駅 | ⑮屋台庫 | ワークショップ |
| 車移動        | 徒歩移動   | 徒歩移動   | 徒歩移動 | 徒歩移動    | 徒歩移動  | 徒歩移動 | 徒歩移動 | 徒歩移動   | 徒歩移動 | 徒歩移動 | 徒歩移動    |



・太郎・次郎滝



・太郎・次郎滝への散策路



・屋台庫



・谷村町駅



・円通院